五月廿六日　夕刊

常磐毎日新聞

日刊

定價一部金貳錢　一ケ月金五拾錢　郵税五厘
廣告料五號十二字詰一行金五拾錢
日曜祭日の翌日休刊
發行兼編輯人印刷人　川崎文治
福島縣石城郡平町長橋町三五
發行所　常磐毎日新聞社
印刷所　常磐毎日印刷株式會社　電話六三〇番

患者心理（三）

C K 生

且つ一層念入りに診療して呉れるものである。費用の負擔も直接の依頼よりは輕いものである。之れは然し、『かゝりつけ』のお醫者さんを間に立てたときでないといかぬ。第一のお醫者さんは、第二のお醫者さんに義理を立てるので、費用の負擔が案外重くなることがある。其の上、診療上の責任を區分して負はるる不利を招く虞れが無いでもない。

『かゝりつけ』のお醫者さんといふても病氣には成るべく罹らぬがよいのであるから、自分と家族とが壯健であれば、自然お醫者さんとは縁は遠くなる。そこで盆暮れ或は相當の時期に、物を贈るとか或は御馳走をするとかの方法で、因縁をつないで恒懇になつて置かねばならぬ。然し、富豪權門の人の中には往々『かゝりつけ』のお醫者さんを親戚友人等の病氣の見舞品に代用するものがある。つまりお醫者さんを見舞ひに遣はすものがある。それはお醫者さんに對して甚だ失禮のことである。

私はお醫者さんから度々かうした憤慨談を聞かせらるゝ。

貧しい人達は『かゝりつけ』のお醫者さんを持てない様に聞えるかも知れぬがそうではない。良いお醫者さんに物を贈り或は御馳走するお金はなくとも、それ〴〵の職業に勞力の斷片が出來る筈であるから、その斷片を贈呈して置けばよろしい。例へば植木屋さんは旦那場の仕事が割合早く濟んだ時に、お醫者さんの庭樹に一寸鋏を入れるといふ風にするがよい例へばお醫者さんの奥さんが身重の時に、娘を洗濯のお手傳にやるといふが如きでもよい。

鳶職さんは仕事場の歸りに、一寸下水の吐き工合を直して行く、といふが如きでもよろしい。平生こんな風にしてお醫者さんに親しくなつて居れば、いざといふ場合、常着の儘で小供を抱いて、お醫者さんの晩酌のお膳の前へ推參して『ねい先生!!』で診て貰ふことが出來る。診療料も藥代も規定通りには請求せられまい。

現代では、生活機構の變狀を一番始めに發見し又は氣付く者は、お醫者さんでなくて患者自身であることが一般である。その上診て貰ふことによつてお醫者さんに利益を提供することが出來る程度——と自ら鑑定するまで病ひを放置する傾向がある。從つて『手遲れ』といふことが起る『かゝりつけ』のお醫者さんがあると、斯かる損をすることが少い。

或るお醫者さんが此の隨筆を見て、お金の準備をして置くことを書き落してあるといふた、成程とも思はぬが兎に角念の爲めに書き添えてだけは置かう。

【大尾】

日曜

窓の或る日

常磐　詩集

清草の丘に情人を戀ひ
涙流してひと日を過ぎし
と
想ふことなく窓に寄す
心かの碧空の鳶かよ
かう索車は緩かに絹の山
を截斷し
山頂に點々する白光の天
幕は
陽光の幻惑を感ずる
白日のもと
何時よりか
薄煙かの丘にただよひ
一羽なる鳶も行方あらぬ
ば
幽けくは寂しみの湧くな
り

有給社員招聘

◇外務社員　拾名
◇監督社員　三名

三井生命保險株式會社
駐在地ハ福島縣内ニシテ本人ノ希望地
東京市日本橋區室町三井第二號館
◎入社御希望ノ方ハ左記出張所ヘ履歴　提出セラレタシ
▼平出張所
福島縣平町鍛冶町二九〔電五〇三〕

專門
産婦人科
花柳病科
◎入院隨意
井坂醫院
平町田町　電話五五九番

夏の通學服
◇小學用霜降小倉服……40ヨリ
◇〃　〃上口……85ヨリ
◇〃　〃特製……1.20ヨリ
◇中學用　〃……2.05ヨリ
第二・第三制服も取揃ひました。
ふかや洋服店　平三　電203

新車購入御披露
御待ち兼ねの一九三四年マスターセダン!!!本縣下の第一車が皆樣の昭和へ入りましたニューアクション裝置絶好の乗心地是非御試乘の程御願ひ致します。
呼び良い電話三四〇番增設致しました。
平驛前　昭和タクシー　電話三四〇番　三四三番

診療時間　夜
胃腸病　内科
性病　花柳病科　皮膚科
專門
松村醫院　胃腸病　性病科
（平町南町一〇七番）

34年型新車購入
快ろよい微風が頬をかすめて吹く……野邊に.海邊に
アナタのリーベとの遠乘りに散策に一御私用に一是非御愛乘下さい。
セリザワのニュー・カーを！
平・三　芹澤タクシー　電395

譽れの……甲種合格者

平町の二十三名

平町本籍壯丁者の徵兵檢査は昨二十五日執行されたが受檢壯丁百五十八名の中譽れの甲種合格者は左記二十三名であつた

猪狩久吉　佐々木秉吉　清野芳男　篠原善治　荻野勝一　久野銀三　佐藤甲二郎　藁谷昌平　吉田勝彌　渡邊賢治　伊藤留太郎　高木傳吉　田卷正三　佐々木道典　鈴木正男　大友正良　有坂正道　田村重一　白土勝白　鈴木竹雄　久保田虎孝　白鳥謹一　柏原信一

平商劍道選手出仙

東北豫選に

平商業學校では來月廿四日午與九時より仙臺市東北帝大劍道部に開催される全日本中等學校劍部大會東北豫選會に出場する爲め左記五選手が廿三日午後一時五十八分平驛發列車で出發する

草野忠悟、郡司重雄、渡邊新兵衛、齊藤一夫、若松一郎

平町の壯丁

体格成績不良

但し花柳病は一名のみ

平町本籍壯丁百五十八名の各等位は別項の甲種合格者二十三名を始め第一乙種、二五、第二乙種三二、丙種五一、丁種六で丙種が甲種及び乙種の合計より尙もほ三名多く之に次で第二乙種が三十二名に達し兵役免除の体格劣等者が六名あり如何に平町の体格が低いかを物語つてゐる、而も百五十有餘の壯丁の中甲種合格二十三名といふ數字は他一村に比し情ない狀態であるが花柳病者は一名で縣下有數の桃色街として知られて居る平町として割合に壯丁は意志堅固といへやう尙ほ適齡者の中學校在學の爲徵兵延期が二十八名、海外移住が六名、所在不明の不心得者が二名あつた

都市計劃委員　平町井上茂作、野崎滿藏、萩原議義雄の三氏は都市計畫福島地方委員會委員に平助役酒井寅之助氏は同委員會幹事に各任命された

新任委員

平町に於ける任期滿了及び欠員補充等に依る各種委員は左記の如く決定

（土木委員）小野伊佐治、花澤久一郎、高橋龜松、酒井清、荒川淺次郎、新井滋藏、吉田寅之輔

（傳染病豫防委員）吉田金作佐藤幸太郎

（水道委員）川崎文治

壓倒的優勝

郡下兒童競技に

出場の平第一校選手

既報昨日湯本小學校に催された郡下小學兒童競技會に出場した平第一校の選手は精一ッ杯の元氣で奮鬪し尋六の百米C組齋藤、高二の二百米B組佐藤等はいづれも一等を占め殊に最後のリレー競技には五年、六年が揃つて一等に優勝、高等二年が二等、同一年は三等と壓倒的な好成績を擧げたが同校の入賞者左の如くである

（尋五百米）二等新妻喜太郎（尋六百米）一等齋藤義孝（高一、二百米）二等田中忠太郎、三等佐藤喜一（高二、二百米）一等佐藤喜一、二等馬場一夫

草野村品評會　石城郡農會青山[illegible]は來月一日草野村の二毛作品評會の審査を行ふ

二毛作の審査　石城郡農會では來る二十九、三十の兩日入遠野、上遠野の二毛作審査を行ふ爲め柴田技手出席する

校内選手

けふ第二で

平第二小學校では本日午後一時より四年以上各學年より五名の選手を出して四年五年はドッチボール、六年以上はバスケット球戯大會を行つて校内選手權を爭つた

泉村肥料

配給所竣工式

泉村農會では豫てより農林省より補助を受け共同肥料配給所を建設中の處此程竣功明廿七日午前十時から竣功並に肥料配給の實地傳習會を開くが講師は縣農會田中技手であると

磐中の小競技　磐中では明日の海軍記念日を機として同校―平窪間一万米マラソンを行ふ筈であつたが都合により中止し校内各學年の小競技會を開いた

四倉壯丁寄附　四倉町本年度壯丁八十五名は過般平町に於て執行された徵兵檢査の際役場より支給された宿泊料の内十五圓を節約目下工事中の忠魂碑建設費の内に寄附した

錦村の品評會　錦村農會では來月一、二、三の三日間二毛作品評會を開く

豐間江名商港

工事開始

三萬圓の浚渫工事

平土木監督所では豐間港の漁船引上場及び港口附近の浚渫並に延長二十米の防砂堤建設を工費一萬七千圓を以て本年度匡救工事として施工する事になつたが數日來より基礎工事を開始した尙ほ江名港の昨年度浚渫洩たの個所を工費一萬二千圓で着工した

遠藤技師各濱視察

縣土木縣遠藤技師並に小林平土木監督所長は久ノ濱港災害復舊工事泉濱、小名濱古港漁港各防砂堤世に江名港道路下の護岸缺潰改修工事を控へけふ午後實地踏査を行つた

平町人事

回出生

△鷹匠町九　蛭田千代松氏三男武司さん

△白銀町二二　當時朝鮮忠清南道大田郡大田邑春田町三丁目八六ノ二小柳平長氏女治信子さん

△鎌田町一三　福本傳吉氏三女シヅヱさん

△三丁目一六　當時仙臺市二日町五二佐々木光男氏三女要子さん

回死亡

△鎌田町三二　宍戸丑太郎氏（六八）

△古鍛冶町一二　當時東京市城東區北砂町四丁目一一四五大野勝代さん（六三）

平百面鏡

大野スタヂオ

電話開設

平仲田町大野寫眞館では自然の姿勢を尊重して撮影一般より好評を傳してゐるが此程電話五四五番を新設し一層業務に精勵すると

夏期の通學服　平三丁目なかや洋服店では目下夏の通學服を賣出してゐるがいつも乍らの勉强振りなので非常な賣れゆきを示して

魚清蒲燒

食通本意に

おなじみの平二丁目魚清では過般來かばやきとうなどんを賣出してゐるがかばやき五十錢、うなどん重入五十錢、同丼入三十五錢と言ふ食通本位の大安賣

感じの良い！

客に親切な……

藥種賣藥、工業藥品
衛生材料、各種染料
化粧品、其他

阿部藥舗

平・田町（松月堂向）

産婦人科
外科
藥局

院長　木村寅次郎
醫學博士　内木宗八
藥劑師　玄番彌一

入院隨意
病室完備

平町新川町十九

木村病院

電話一六四番

中村齒科醫院

平町鍛冶町七

御前試合は平署が快勝

木曾乘組員對平署並に平青年團混成柔道試合は昨二十五日午後二時半より小名濱小學校道場に於て久邇宮殿下台覽の下に擧行されたが結局平署側大將草刈三段を殘して快勝した（審判青天目源一郎四段）

木曾　平署
天野初段…分…阿部二段
清水〃　——○阿部（文）
堀越〃　——○〃
足立　〃…分…〃
倉谷二段○——椎根〃
〃　…分…　熊田三段
草刈三段

木曾拔錨
鹽釜指して

木年度艦上簡閲點呼の爲め小名濱港に來郡中であつた軍艦木曾は今二十六日午前七時三十分渡本縣警察部横山平署長外三百名を乘せて宮城縣鹽釜港を指して拔錨した

空の勇士が平町の溫情を感謝
各種團体の代表者が親しく病院に見舞ふ

江名永崎で遭難し平町上田病院に於いて治療中の島田大尉、三浦特務中尉は既報の如く其の後も經過良好であるが平町及び平町在鄉軍人分會、同愛國婦人會、石城鄉軍聯合分會では今二十六日右團体代表青沼鋒太郎同夫人、山崎清三、藤田榮助の諸氏を上田病院に派遣親しく見舞の言葉を述べ水菓子、カステラ等一籠宛をそれぞ〳〵贈つたが重傷の兩氏は見知らぬ土地の溫情を感謝してゐると

第三校父兄會
平第三小學校では今二十六日父兄懇談會を開き授業參觀、學藝會等を催した

知事歸福
小名濱から

木曾砲術長久邇宮朝融王殿下御警衛の爲來郡中の畑山本縣知事は今二十六日午前九時平發列車で歸廳した

校旗樹立
第三小學校で

平第三小學校では明二十七日海軍記念日を卜して新調の校旗樹立式を同校講堂で擧行するが同校旗は同校職員、兒童、同窓會員等から百四十三圓四十二錢の寄附を仰ぎ調製したものであると

第二職員
關西を視察

平第二小學校職員の兒童教育研究會員草野、海野、根本、米本、野原の五訓導は來月十八日より廿五日迄東京及び關西地方に左記の視察旅行を行ふ

（六月十八日）夜平發（十九日）曉東京着、御茶水、玉川方面視察、午後東京發（廿日）濱松下車、鄉土教育施設視察、碧海郡農村經營視察（廿一日より廿三日迄）奈良女子高等師範學校の初等教育講習會受講（廿四日）午前神戸市內小學校視察、午後東京着、（廿五日）夜平着

梅雨期が迫り
飲食物の注意
不良品に嚴重警告

平署ではそろ〳〵梅雨期も迫り飲食物が腐敗し勝ちになつたので平町各飲食物販賣店から商品三十數点を徵收し同署衛生技師の手により嚴密な檢査を行つて不良品に對しては嚴重な警告を發し場合によつては販賣品を押收すると

青春期の結核死亡者最も多數

平町に於ける昨年度の死亡者は四百十七人の多きに達したがその中結核に依る死亡者は七十九人で其內二十才より二十四才迄の青春期のものが二十六人を占め青春期が病魔に冒され易い證據を示してゐる、尙結核病死者の職業別を見ると無職の三十八名を筆頭に農業十二、商業十、家事使用人八等が主なるものである

消防醫を囑託

消防組では消防醫として鍛冶町萩原齒科醫及び田町中野齒科醫の兩氏を囑託した

明日のラヂオ

廿七日

今晩も明日も北西の風晴後曇

天氣豫報

今晩の部

▼後六、〇〇（子供の時間）お話とうた「ポチ」お話　芥川愛子歌オハナシクラブ
▼後六、二五　公民常識講座二「職業」東北帝大教授　廣濱嘉雄
▼後七、三〇　管絃樂　未完成交響曲　二高答絃樂團
▼後八、〇〇　義太夫「菅原傳習授手鑑」寺小屋の段　竹本東四郎外
▼後九、〇〇　時事解說　法學博士　松田道一
▼後九、三〇　時報ニュース　氣象通報　番組豫告

明日の部

▼前四、五〇　軍艦生活の朝（横須賀軍艦「日進」より中繼）
▼前九　一〇　榮養料理獻立　榮養研究所
▼前九、三〇　子供の時間　ラヂオスケッチ（横須賀記念三笠より中繼）
▼前一〇、〇〇　宗教講話
▼前一〇、四〇　講演
▼前一一、一〇　講演「マルコポーロ」廣島高等師範學校教授　梅田育太郎
▼後〇、五〇　滿洲より
▼後一、二〇　舞踊音樂「花橘壽狂言」
▼後一、五〇　野球試合實況（東京大學）（早稻田對立教）
▼後二、〇〇　神宮より中繼
▼後二、〇〇　絃樂團重奏　東京クワルテット
▼後二、三〇　講談「名劍振分髮」柴田南玉
▼後三、〇〇　清元「白玉權九郎忍岡戀曲者」清元壽美太夫外
▼後六、〇〇　子供の時間「吹奏樂と軍歌」海軍々樂隊　女子放送合唱團
▼後六、二五　產業ニュース
▼後七、三〇　講演『日本海々戰を偲びて』海軍少將秀島成忠『海軍記念日の夕』
▼後八、〇〇　歌謠曲　獨唱

四倉大敷
水揚五萬圓

四倉町の大敷網漁業は本年に入つて既に水揚高二萬圓に達し殊に梅雨期が最も鯛漁獲の好期なので來月中には水揚高五萬圓に達すると見られて居る

△△△△△古物商賣は泥棒△
四十五貫の砲金支柱を高坂新堰から盜んで御用

內鄉村大字御厩字沼尻古物商大谷豊（三五）は去る十五日夜內鄉村の三大字に灌漑する高坂地內新川新堰から鉋金製支柱約四十五貫價格百圓を大膽にも取りはずし同字の齋藤光男（三〇）を雇つて運び自宅及び附近の畑に隱匿して置いた事發覺今二十六日平署に檢擧されたが餘罪ある見込で取調中

三界に……寄る邊なく
路上に行倒る

今二十五日午前五時頃平町舊城跡に一名の行倒れあるを通行人が發見平署に屆出たので取調べの結果は澤右邊村大字下市登字下平一六七生れ加藤留吉で最近まで北海道で勞働生活を續けてゐたが寄年淺に故鄉戀しく歸鄉の途中旅費を使ひ果し身寄りもないので平町に辿りつき乞食をしてゐたものと判明同署では取敢へず平町行路病舍に收容させた

四倉の忠魂碑

四倉町在鄉軍人分會では同町地引地內に忠魂碑建設工事中であるが碑文は陸軍大將鈴木莊六閣下の筆落成除幕式は來る六月十日頃の豫定であると

曙風會の演奏

平町曙風會では明廿七日午後五時よりマルトモホールに於いて第三回三曲演奏會を催す入場無料

裁判所たより

既報赤井村大字西小川字中野農松崎美松（三〇）が去月廿日同村上野地內山林で投げ捨てた煙草の吸殼から山林二反歩を燒いた失火事件に就いて平區才判所の中島監督判事小川書記の一行は本日現場に赴き實地檢證を行つたが近く公判が開かれる筈

平職業紹介所報告

回　人を求める方

△自動車修繕　二十才前後　尋卒　月五、六圓位
△道路修繕夫　二十　三十才位　月十圓位
△配達夫　十五　二十才　尋卒以上　給料面談
△農夫　三十　五十才位　月十圓位
△配達夫　十四　五才　尋卒　月五圓位
△外交員　二十才以上　高卒　歩合給

回　職を求める方

△事務員　二十七才　佑賢卒
△給仕　十七才　高卒
△トラック助手　二十六才　高卒
△土工夫　四十四才　尋二修
△魚屋店員　二十九才　尋卒
△給付　十九才　高一修
△機械工　二十二才　高卒

浮名の比翼 近新音頭

（藝妓上映及上演）

田邊南龍（作）
山本英春（曲）

――四二――

分らぬ法華親方

庵崎の小平は蒼い顔をして

『僅かな家作を人手に渡し着替への大小から紙入巾着までなくなつて終ひにやア女房アの針箱鏡臺まで色々なものを擔ぎ出した樣な始末でございます、國にやア金の茶釜があるなんて能く冗談に云ふが家には嘘や冗談でなく、石燈籠が三十本からありましたが、庭の植木と諸共に泉水の緋鯉まで捕つて賣りこかして了ひまして、今殘つて居るのは住つて居た大きな家、夫も雨の降つた時には傘を差さなくつちやア這入れません、尤も女房には子が出來二才になる餓鬼もありますが、あの長物は先祖傳來の腰の物だから此品ばかりは一子小吉へ讓つてやつて呉れろと、呉々も女房に云はれました、確に讓つては遣るが俺も丸腰ぢやア仕樣がねえから、當分貸して置いて呉れろ不可ねえと云ふのを女房を蹴倒して無理に持つて來た脇差です、その位えですから此刀ばかりは失なしちやア御先祖へ濟まねえからと、他家へ預けた事ございません、それを和郎さんが先刻元締の刀と摺替へるに就て悪い樣にしねえからつて遂々遣つちまつた』

『だから好いぢやアねえか五兩遣るからこれで代りを求めろといふんだ』

『だがね親分、五兩出した何しも知らねえ子孫が驚がア、五兩や七兩の刀が子孫へ傳へる名刀の代りにやアなりません和郎さんの差料をお呉んなせえ、三本あるから三本一緒に差して出る譯でもねえから、差替をお呉んなせえ、和郎さんの物だによつて萬更の物でもありますめえから、夫を讓つて貰ひませう』

『分らねえな、乃公の差替と云ふなア井上省改といつて、新刀鍛冶の番附を見ると勸進元へ出て居るんで汝刀をお呉んなせえな』

『出來過ぎた事をいふな小平ありやア肥後の同田貫で清正公の御供をして、朝鮮征伐に出た時陣中で鍛へた一刀だ、汝達が差す樣な刀ぢやアねえ』

『そんなら彦四郎の脇差を小哥にお呉んなせえ』

『汝に遣らうと思つて摺替たんぢやアねえや』

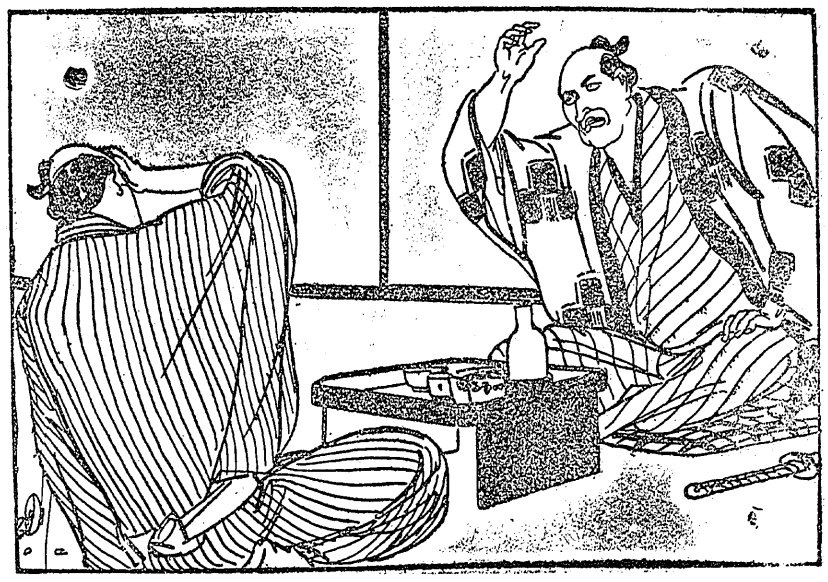
『夫やア餘り分らねえてえもんだ、脇差を一本なくしたから代りを呉んなせえと云つたのだ脇差を無くなして槍を呉れと云つた譯ぢやアねえ……』

『だから五兩やるから買へといふんだ』

『ところが五兩や七兩で買へる脇差ぢやアございません、親分餘り分らねえぢやアございませんか』

『エーイ何を吐しやアがるんでえ、八釜敷い……』

といひながら、前にあつたる小皿をば突然小平の額へポンと打付けました、何かは以て堪るべき、額からダラ〳〵と血が流れました



ら立派なものがありませうか、百姓だつてめくらばかりぢやアない五兩や七兩の刀は伴に殘しては置けない夕立に逢つて柄糸がグスグスになつて了ふやうな刀を殘して置くやうなもんで、の腰などへ差しちやア腰が曲つてしまわア』

『ぢやア止しませう、小哥も今から腰が曲つちやア詰らねえ』

『生意氣なことをいふな』

『夫ぢやア小哥に差料の一

◎御家庭藥として是非御用意下さい
熱い火や湯でヤケドなされた時直ぐツケますればヒブクレにならずなほります
キリ印太乙膏があれば安心です、お試用見本無料で差上げますからドウゾ御遠慮なくいらしつて下さい。殊にクサにはモットモ良く二、三回ツケればキレイに治ります。

キリ印太乙膏（ヤケド・クサ・ヒゞ・シモヤケ）（キリキズ・はだのアレ・あかぎれ・たゞれ）

専賣店
平町古鍛冶町一〇
阿康藥舗
電話四四番

店主が店員を連れて行かれる
正シイ食堂
正シイ喫茶
正シイ酒場
平・田町
レストラン サロン
電三五二番

ウニヤキ
土焼と
産手やき
魚岡屋
最優最大日本生命平代理店
志賀盛榮
平四丁目（電二一三）

石炭
コークス
玉炭
平驛前
阿部石炭商店
電話三七番

◎電話新設
五四五番!!!
御寫眞は最近著しい進歩いたしました
『最新の採光と自然の御姿勢を』
常に尊重して御寫し申上たいと存じます。
尚ほ出張撮影御急ぎの場合は是非……。
電話五四五番へ御願いたします
平町仲田町【電話五四五番】
大野寫眞館

磐城セメント會社特約店
磐城屋商店
磐城平町五丁目　電話九番九九番
□良品廉賣に勝る商略なし
□確實敏捷は磐城の生命なり